

5 学年 図画工作科 授業計画

教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、つくりだす喜びを味わうようにするとともに造形的な創造活動の基礎的な能力を育て、豊かな情操を養う。

評価の観点

- ・ 自分の思いを持ち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形活動を積極的に楽しみ、喜びを味わおうとする。
- ・ 見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をする。
- ・ 表したい意図や周りの様子に関連づけながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫する。
- ・ 造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりする。

評価の方法

関心・意欲・態度 発想 技能 作品 鑑賞

学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	自分の顔 自信をもって トローリ かたまれ ゲートをぬけてゴールイン 動くよ 動く 絵が動く	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の顔の顔の特徴が表れるように、自分の顔を絵に表す。 ・ 日本の伝統的な美術の発想のよさや面白さを知る。 ・ 粘土を生かした活動を楽しみ、材料の面白さに気づく。 ・ 接着や飾りを工夫してゲームを作り、みんなでゲームを楽しむ。 ・ 両画面が交互に変化する効果を生かした形や色を考える。
後期	ほって 刷って よく見てみると 曲げて ねじって 板を切りぬいて 心広がる場面 日本のアート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一版多色の方法を理解し、刷るごとにできあがる過程を楽しむ。 ・ 世の中にある不思議な見え方をする物に気づき、その面白さを楽しむ。 ・ 粘土を加工していく操作から、思いついた形を作品にする。 ・ 木のパーツを組み立ててできるジグソーパズルづくりを楽しむ。 ・ 物語から心を打たれ、そこから場面を構想する楽しさを味わう。 ・ 日本の伝統的な美術(アート)のよさや、現代的な意義について理解する。